

## 選択科目(地理歴史) 地理

〈出題内容・形式・配点〉\*出題内容、問題番号、配点は2月3日実施分です。

内容	形式	配点	試験時間
I 開発途上国をめぐる国際関係	記述	34	80分
II 世界都市の地誌	記述	33	
III 日本の自然環境と災害	記述	33	
合計		100	

### 【出題の基本方針】

高校の教科書を基本として、地図帳・副教材・統計なども参考としつつ、知識と理解力・考察力の双方を問う内容の問題を設定した。

語句や地名に関する基礎知識に加え、教科書に記載されている地理的事象が地球上のどこで生起しているのか、地理的事象の地理的位置を把握した上で、多様な事象間の空間的関係を理解し、考察ないし類推する力があるかどうかを重視した。

### 【学習のポイント】

- ・学習の基本は教科書の内容を正確に理解することである。その際に、かならず地図帳で国・山地・河川・都市などの位置を確認することが重要である。そのうえで、たとえば河川や湾と都市の立地がどのように関わるのか考察してみることも重要である。
- ・地理の理解は、系統的な考察と地誌的な考察の双方が重要である。特定の地域の問題を系統的に、逆にまた系統的な地理的事象を特定の地域を通じて考えてみてほしい。
- ・試験の答案には正確な文字を書くことが不可欠である。語句・地名を中心に、用語を正確に書けるように心がけてほしい。